

事業提案書

団 体 名	湯沢市釣公園協議会			事業区分	ハード・ソフト	
事 業 名	釣師憧れの地“ゆざわ”創造事業 第2弾『貝沼の青ブナ』伝説の復活			継続事業	2 年目	
実 施 期 間	令和 8 年 7 月 1 日から 令和 8 年 11 月 15 日まで					
補 助 対 象 経 費	750,000 円		補 助 金 申 請 額	500,000 円		
事 業 目 的	課 題	(事業を計画するに至った課題とその原因はなにか) 前回平成27年に採択された「参加・協働のまちづくり事業」の翌年度から継続してきた『湯沢・貝沼青ブナ釣り大会』だが、近年青ブナの生息数が激減し、大会継続が危ぶまれる状況にある。				
	目 的	(課題の原因を解決する目的はなにか) 昭和49年の『釣りキチ三平』に登場する「貝沼の青ブナ」は、釣師が一度は釣ってみたい魅力のある対象である。放流事業は、継続する事で魚の成長を促すとされている。併せて、国道に『釣りキチ三平』の案内看板を設置する事で多くの市民・釣り師にアピールする。				
事 業 内 容	対 象	(事業の対象となるのは誰か) 全国の『釣りキチ三平』ファン並びに全国の釣師				
	内 容 (流れ)	(いつ、どこで、どの様な内容の事業を、どの様な方法で行うのか) 平成28年度第1回『湯沢・貝沼青ブナ釣り大会』の開催し、昨年の第8回大会まで継続して大会を主催してきた。令和4年には湯沢市長杯をいただき、『釣りキチ三平』由来の青ブナ釣りを楽しんでいる。しかしながら、近年は個体数が激減し、一昨年が3名が各2枚ずつ、昨年は45名参加で、1名が2枚、2名が1枚ずつと寂しい釣果であった。 大会参加者に関しては、一昨年に32名に対し、まちづくり提案型補助金事業参加の昨年は釣り人の関心も集まり、45名の参加者を得た。しかしながら、釣果は今一つの状態であった。 今年度は、全県の釣団体が一堂に会する大会第9回『湯沢・貝沼青ブナ釣り大会』を貝沼で開催する事が決定し、“青ブナ”を広くアピールする事となる。なお一層の放流と看板設置が急がれる。				
		目 標 と 計 画	1 年 目	目 標	青ブナ釣り大会の継続	目標の根拠
	2 年 目	目 標	全県規模の大会誘致	目標の根拠	看板の設置	
		計 画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 現在、国道から貝沼に至る道路は集落の狭い道路とゴム入り口付近の市道がある。地場の釣り人はこの市道を使っているが、遠来の釣り人や観光客は入口がわからずに困っている。『釣りキチ三平』の立った看板を設置し、誘客を図る。補助上限額を超えた分については協議会の自己資金により実施する。			
	3 年 目	目 標	『釣りキチ三平』入りのポスター制作と配布	目標の根拠	“貝沼の青ブナ”のアピール	
計 画		(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 青ブナ放流事業と釣り大会を継続・拡大する。『釣りキチ三平』のポスターと漫画を小安・大湯温泉に展示や設置をする事で、“貝沼の青ブナ”をさらにアピールする。補助上限額を超えた分については協議会の自己資金により実施する。				
～5 年 目	目 標	青ブナの復活を全国へ発信する	目標の根拠	青ブナは憧れである		
	計 画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 『貝沼の青ブナ』復活をマスメディアに情報提供し、更なる誘客を図る。補助上限額を超えた分については協議会の自己資金により実施する。				
規 制	(事業を行う上での規制はあるか、どのように対処していくのか) 『釣りキチ三平』の商標使用を横手市増田まんが美術財団と交渉し、使用権を得る。					

(裏面)

	期 間	内 容	担当者	
事業スケジュール	7月下旬	秋田県へラ耐放流協議会に令和7年度放流分を発注する。	幹事長 佐々木 満	
	8月上旬	大台沼自然公園（湯沢釣公園） 早朝草刈り	事務局 伊藤 茂	
	9月21日	第9回『湯沢・貝沼青ブナ釣り大会』開催	実行委員長 岩堀 茂仁	
	11月8日	青ブナ放流	幹事長 佐々木 満	
	11月上旬	大台沼自然公園（湯沢釣公園） 冬囲い	事務局 伊藤 浩二	
住 民 参 加	(事業に対し、どのように住民が参加できるか)  湯沢市釣公園協議会では、平成16年に大台沼自然公園が完成後から地域の方々と共に「大台沼自然公園愛護会」を組織し、清掃・下刈など環境整備を毎年実施してきた。 今回の『貝沼の青ブナ』の事業も、小安温泉・大湯温泉協会と協力し合い、釣り人の誘客と皆瀬地区の活性化の一助とする。			
事業のアピール点	(地域の特性を活かした事業か、アイデアや着眼点のどこが優れているか)  矢口高雄の人気漫画『釣りキチ三平』に登場の『貝沼の青ブナ』は、全国的に有名な釣り人憧れのスポットである。この貴重な観光資源が青ブナの激減という危機に直面している今、放流事業で復活させるという事は、『湯沢・貝沼青ブナ釣り大会』の継続と共に釣り人の誘客に資する。 また、遠来の釣り人・観光客に『釣りキチ三平』由来の貝沼という事をアピールするために、看板を設置する。			

※記載欄の過不足は適宜調整してください。